

平成29年12月18日

第3学年保護者の皆様

旭川市立桜岡中学校
校長 藤原 淳

平成29年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要と指導の改善に向けて

本年もいよいよ押しつまり、多事多端のことと存じます。保護者の皆様には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動にご支援、ご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

さて、本年4月18日(火)に実施いたしました「全国学力・学習状況調査」について、11月27日(月)に旭川市教育委員会から旭川市全体の調査結果の概要等が公表されました。それを受け、本校においても『「全国学力・学習状況調査」結果の概要と指導の改善に向けて』をまとめましたので、次のとおりお知らせいたします。

つきましては、今後とも本校の教育活動の充実を図ってまいりますので、ご家庭におかれましても学習習慣、生活習慣の確立などにむけてご協力頂きますようお願い申し上げます。

なお、旭川市全体の調査結果の概要等につきましては旭川市のホームページにて確認できますので、このことにつきましてもお知らせいたします。

本校では、全国・全道と正答率に関して比較するのではなく、旭川市教育委員会の分析を受け、各設問に対する本校児童生徒の正答率に基づき、以下のように分析しました。

- ・成果あり……………80%以上の正答率の設問
- ・おおむね達成…60%～80%の正答率の設問
- ・課題あり……………60%以下の正答率の設問

特に顕著だった設問を基に改善策を設定しました。

1 【本校の成果と課題】

① 国語A（主として知識）について

○成果あり

- ・話し言葉と書き言葉との違いを理解する
- ・事実と考えとの関係に注意し、構成を工夫して話す
- ・文章の要旨を捉える」「文章の構成を工夫して分かりやすく書く
- ・漢字を読む（覚悟）（鮮やか）（垂れる）
- ・古文と現代語訳とを対応させて内容を捉える

●課題あり

- ・漢字を書く（規模）（延期）（営む）
- ・事象や行為などを表す多様な語句について理解する

② 国語B（主として活用）について

○成果あり

- ・登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する
- ・話の論理的な構成や展開などに注意して書く

●課題あり

- ・表現の仕方について捉え、自分の考えを書く

③ 数学A（主として知識）について

○成果あり

- ・分数の乗法の計算ができる
- ・加減乗除を含む正の数と負の数の計算において、計算の決まりに従って計算できる
- ・整式の加法と減法の計算ができる
- ・証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している

●課題あり

- ・数量の関係を文字式で表すことができる
- ・等式を目的に応じて変形することができる
- ・扇形の弧の長さを求めることができる
- ・円柱の体積を求めることができる
- ・錯角の意味を理解している
- ・関数の意味を理解している

④ 数学B（主として活用）について

○成果あり

- ・問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる
- ・与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる
- ・資料から必要な情報を適切に読み取ることができる

●課題あり

- ・事象を図形間の関係に着目して観察し、対称性を的確に捉えることができる
- ・与えられた説明の筋道を読み取り、事象を数学的に表現することができる
- ・証明した事柄を用いて新たな性質を見いだすことができる
- ・与えられた情報から必要な情報を選択し、事象に即して解釈することができる

2 【改善に向けて】 上記の結果を受けて、「課題」となっている内容についての対応

①今回全国学力テストを行った教科について

○国語、数学について、それぞれの授業の中で課題となった部分の復習を行う。復習の対象は全学年で取り組みます。

○中3においては、課題の見られた設問を再度解かせ、取り組みの成果を確認します。

○中2においては、3月にすべての問題を解かせ、取り組みの成果を確認します。

○「授業アイデア例」の中から実践を行い、授業の改善を図ります。

②国語・数学の授業以外の取り組み

○他の教科や活動場面においても課題に対する手立てができるものについては意図的に取り組みを行います。

・実践例 「課題」：国語B「事実や事柄をわかりやすく伝える」

*総合的な学習の時間の発表で、相手に正確に伝えるためにはどうするかを考えさせたうえで発表する。

*特別活動の取組で意図的に生徒自身に説明させる場面を多く設定する。

○その他、課題に対して取り組みそうな事項を実践します。

3 【質問紙調査票の項目と平均正答率の関係】（旭川市教育委員会の分析より）

これらの結果をうけ、正答率の高い子どもに次の傾向が見られたことがわかりました。

① 「先生によいところを認められていると思っている」子ども

② 「テレビやビデオ・DVDを見る時間、テレビゲームをする時間が短い（1日2時間以内）」子ども

③ 「携帯電話やスマートフォンをもっていないか、使用時間が短い」子ども（中学校）

本校では、今後も保護者の皆様と連携を取りながら家庭学習の充実や規則正しい生活習慣に向けて取り組んでいきたいと思っております。また、今までの指導を継続しながら教育活動を進めて参ります。